

映画カレンダー

かずくん

《 2009年12月 ~ 2010年1月 》

●舞台挨拶有り ◎ポイント招待 ★レディースデイ ○試写会 ☆映画の日

1	12月 3日	トワイライトサー ガニュームーン	監督：クリス・ワイツ 出演：クリステン・スチュワート、ロバート・パティソン	TOHOシネマズ 川崎
2	7日	理想の彼氏	監督：バート・フレンドリッチ 出演：キャサリン・ゼタ・ジョーンズ、ジャスティ・バーサ	川崎チネチッタ
3	8日	インフォーマント	監督：スティーブン・ソダーバーグ 出演：マット・デイモン、スコット・バクラ	109シネマズ 川崎
4	10日	2012	監督：ローランド・エメリッヒ 出演：ジョン・キューザック	川崎チネチッタ
5	11日	カールじいさんの 空飛ぶ家（3D）	監督：ピート・ドクター・ボブ・ピーターソン	川崎チネチッタ ◎
6	12日	宇宙戦艦ヤマト	監督：西崎義展 声優：山寺宏一、藤村歩、由愛典子	TOHOシネマズ 川崎 ◎
7	13日	ONE PIECE filmStrongWorld	監督：境宗久 原作：尾田栄一郎 声優：田中真弓、中井和哉、岡村明美	川崎チネチッタ
8	14日	スノープリンス 禁じられた恋のメロディ	監督：松村錠司 出演：森本慎太郎、桑島真里乃	TOHOシネマズ 川崎
9	18日	ジュリー& ジュリア	監督：ノーラ・エフロン 出演：メリル・ストリープ、エイミー・アダムス	TOHOシネマズ 川崎 ◎
10	19日	のだめカンタービレ 最終楽章（前編）	監督：武内英樹 出演：上野樹理、玉木宏、瑛太	TOHOシネマズ 川崎
11	22日	ウルルの森の物語	監督：長沼誠 出演：船越英一郎、深田恭子、桑代貴明	TOHOシネマズ 川崎 ◎
12	26日	よなよなペンギン	監督：りんたろう 声優：森迫永依、田中麗奈、太田光	TOHOシネマズ 川崎 ◎
13	30日	レイトン教授と 永遠の歌姫	監督：橋本昌和 声優：大泉洋、堀北真希、水樹奈々	TOHOシネマズ 川崎 1カ月無料パス
14	1月 15日	かいじゅうたちの いるところ	監督：スパイク・ジョーンズ 出演：マックス・レコーズ、キャサリン・キーナー	TOHOシネマズ 川崎 1カ月無料パス

15	15日	釣りバカ日誌 ファイナル	監督：朝原雄三 出演：西田敏行、三國連太郎、浅田美代子	TOHOシネマズ 川崎 1カ月無料パス
16	17日	BANDAGE	監督：小林武史 出演：赤西仁、北乃きい、高良健吾	
17	18日	板尾創路の脱獄王	監督：板尾創路 出演：國村隼、ぼんちおさむ、板尾創路	
18	21日	アバター (3D)	監督：ジェームズ・キャメロン 出演：サム・ワーシントン、シガニー・ウィパー	
19	23日	今度は愛妻家	監督：行定勲 出演：豊川悦司、薬師丸ひろ子、水川あさみ	
20	26日	サヨナライツカ	監督：イ・ジェハン 出演：中山美穂、西島秀俊、石田ゆり子	
21	同	オーシャンズ	監督：ジャック・ペラン、ジャック・クルーズー ナビゲーター：宮沢りえ	
22	27日	サロゲート	監督：ジョナサン・モストウ 出演：ブルース・ウィルス、ラダ・ミッチェル	
23	29日	ラブリー・ボーン	監督：ピーター・ジャクソン 出演：シアーシャ・ローナン、マーク・ウォールバーグ	無料パス本日迄
24	31日	おとうと	監督：山田洋次 出演：吉永小百合、笑福亭鶴瓶	TOHOシネマズ 川崎

《今月の1本 ♥ アバター 3D》

なにしろ今話題の作品。入場料も通常の映画より割高です。でもTOHOシネマズ川崎の1カ月無料パスを持つわたしは追加300円で観ることができるんですよね(*^*)v 3Dは奥行きがすごくあってスクリーンが大きくなったような気がしました。でもメガネonメガネになってしまうわたしにはちょっと観にくいんだけど…まぶしすぎないようにしてあるのか、



素で観るよりちょっと暗い感じもします。で、ときどきする場面も多くて面白いんだけど「これって『天空の城ラピュタ』のパクリ～～??」とか思っちゃいました。飛行石といえばラピュタですよ～!!
これから「アバター」を観るなら絶対3Dがオススメです!

《映画クイズ》

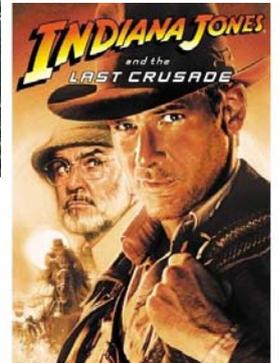
さて、39日という超ハイスピードで全世界興行収益の第一位になった「アバター」。
では今まで1位だった作品はどれでしょう？



3



5



応募待っています！

さて、2009年もそろそろ暮れようかという年末、ミスチルだけでも忙しいのに、大好きな漫画家さんの個展がある！これはぜひ行ってこなければ！

デビュー40周年記念 生み出される深遠な世界はあなたを魅了し続ける。

萩尾望都原画展

2009年12月16日（水）～23日（水・祝）

西武池袋本店 別館2階＝西武ギャラリー

デビュー40周年にはさすがに驚かされます。わたしのファン歴も40年になるわけです。

漫画家としての活動が40周年になる萩尾望都氏のアートワークを一堂にご紹介する初めての個展を開催いたします。代表作『ポーの一族』『トーマの心臓』などを始めとするその作品群は漫画文学の最高峰と言えます。その深遠な人生観と壮大な世界観は漫画の世界に留まらず、舞台、映画、ドラマと多様なジャンルでも活かされています。SF作品からふとした日常の出来事まで、心に何かをしっかりと残す作品達は、緻密に描かれた人間描写や深層心理が、私達の今をリアルに表現しています。また、原画の繊細で匠な美しさでも圧倒されます。本展では、萩尾望都先生の260点を超える展示物（原画をはじめ原稿・参考雑貨）などを一堂に展覧し、先生の40年にわたるアートワークをひも解きます。40年尽きる事のない想像力と努力の痕跡が今も昔も変わらぬ迫力と圧倒的な存在感を示しています。

↑ 個展にあたっての宣伝文ですが、この文章、決してオーバーな表現ではありません。彼女の描く作品たちは「漫画文学の最高峰」であり、その「深遠な人生観と壮大な世界観」は「心に何かをしっかりと残して」くれます。漫画人口も上昇曲線を描いていると思われるこの頃、なのになぜ今の若者は萩尾望都を読まないのか？「難しい」「わかりにくい」という感想をよく聞くのだけれどそれで読まないのはあまりにも惜しい、と思うのだけれど。



やっぱりもこ先生ファンのCaccoさんにおみやげに買った原画展ハンフット。↑